

思い出の場所  
募集中!私たちの  
思い出の場所 **くさの書店 草野義広さん**

## 優秀な学生の皆さんに助けられています

父・草野政吉が昭和39年1月28日に、有限会社くさの書店を設立し、同年の7月に大橋町（現在の岩屋橋電停前）に店舗を構えました。その後、県立長崎北高校の教科書供給所になり、それ以降教科書の取り扱いは今も継続しています。

私は長崎大学経済学部OBです。学生時代から本の配達など、店を手伝っていました。所属していた軟式テニス部の練習には、配達を終えた後遅れ

て合流する日も多く、先輩から「諏訪神社の石段をのぼってから来い!」と怒られたものです(笑)。

アルバイト生の中には、長大の学生さんもたくさんいらっしゃるんですよ。2011年から2023年まで、数えてみると139人(長期のみ)もお世話になっていました。そして、ありがたいのは、学業と同じように仕事ぶりも優秀な学生さんに恵まれたことです。書店は定型化された業務がほとん

んどですが、色々な角度から物事を見ながら、マニュアル以上の仕事をしてくれます。中には、既存のチケット販売システムを合理的に改良してくれた学生さんもいました。私自身、配達に出ている時間が多く、直接交流する機会は少ないですが、気が合う学生さんとは飲みに行くこともあるんですよ。

大学にはレベルの



お話を伺った草野義広さん(昭和45年卒業)。「学生の頃はあまり勉強しませんでした。通ったのは門だけです(笑)。経済学部OBの皆さん、お互い元気に楽しくやっていきましょう」。



大橋町で創業したときに撮影された1枚。  
現在、営業中の店舗は住吉の電車通り沿いとトセピア内の2店舗。

高い図書館がありますし、ネット社会の今は小規模の書店で本を購入する学生さんは少なくなりました。今後は長崎の歴史に根差した古文書や書籍の史料

価値を判断できるような、特殊性のある書店になればと思います。そうすれば、学生さんや大学の先生方との接点が増えるのかもしれない。

## アンケートのご協力をお願い

広報紙Chohoへのご意見・ご感想をお寄せください。

- ①面白かった記事 ②本紙に対する意見・感想 ③今後取り扱ってほしい内容  
④長崎大学からの情報発信全般についての意見・感想 ⑤本学とのご関係  
⑥年齢 ⑦氏名(ふりがな) ⑧郵便番号 ⑨住所 ⑩電話番号を明記してください。



◎ハガキ/〒852-8521 長崎市文教町1-14 長崎大学広報戦略本部 宛

◎FAX/095-819-2156 ◎メール/kouhou@ml.nagasaki-u.ac.jp

◎応募期間/第1弾(グラバー図譜カレンダー)2024年3月末まで 第2弾(図書カード500円分)2024年4月1日~6月末

## 読者プレゼント

アンケートにご協力いただいた皆様の中から、抽選で「グラバー図譜カレンダー」または「図書カード(500円分)」を各10名様にプレゼントします。※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

第1弾 グラバー図譜カレンダー  
(2024年4月~2025年3月版)

グラバー図譜の中から、本学水産学部の山口敦子教授らが選んだ12枚をカレンダーにしました。ぜひ手に取ってその美しさをご覧ください。



## 第2弾 図書カード(500円分)

Choho84号では「図書館」と「くさの書店」を取り上げました。本の電子書籍化が進んでいますが、実際に紙に触れその匂いを感じてページをめくことで、より一層の感動に出会うことができます。本をご購入の際には、ぜひ、思い出の場所「くさの書店」に足を運んでいただき、皆様の感動の一冊をお探しください。



## 長崎大学SNSサイト



X



Facebook



Instagram



YouTube



**Choho**  
直接送付サービス  
受付中!



広報紙Chohoはその多くを、各学部同窓会様の会報誌送付の際に、直近の号を同封してお送りさせていただいています。そのため、読者の皆様には、必ずしもChohoを毎月お届けできないケースがあり、「前号のChohoも読みたい」「定期送付を希望」といったお声をいただいております。そこで、ご指定の住所へChohoを直送させていただくサービスを行っています。

上記サイトへアクセスいただき、ご登録をお願いいたします。皆様のご利用をお待ちしております。

## 編集後記

今回の特集は、長崎大学附属図書館の貴重資料とそのキーパーソンたちに焦点を当てました。数奇な運命を経たグラバー図譜、世界唯一の被爆医科大学で奇跡的に焼け残ったキュンストレーキ、長崎のオランダ大通詞が序文を記した解体新書、これらの貴重資料の由来を取材するにつれ、そこにはキーパーソンとなった人々の後世へ知をつなごうとする強い思いが込められていることを知り、実はこれらは必然的に本学に残されたのだろうかという思いになりました。

解体新書の序文において吉雄永章は、オランダの最新医学書が日本語に翻訳され、医師を志すものが勉強し、天下後世にとっての徳になるだろうと感嘆し涙をこぼしたことを記しています。その思いは脈々と本学の教育研究に受け継がれています。今回登場した水産学部、医学部、経済学部を含む全10学部を擁する長崎大学独自の教育研究は、他にはない豊かな歴史と伝統を築いています。今回の取材を通じて、歴史を継承していくことの重要性を再認識しました。Choho84号が、歴史を繋ぐ1つの記録として後世に残ることを願っています。

(広報戦略課長 米田征徳)

